

その不満は必要？

中 三

みなさんは、毎日ご飯を食べていますか。きれいな水を飲んでいますか。楽しく人生を送っていますか。大半の人は「はい。」と答えると思います。ですが、中には「違う、こんな人生は嫌だ。」と否定する人も少なからずいると思います。「はい。」と答えた人の中にも、何かしらの不満はあると思います。

話は変わりますが、今の外国の状況を知っていますか。ある場所では、大きなビルが立ち並び、その発展した街のすぐ横に、スラム街が存在しています。ある地域では、現在でも戦争が行われています。私たちと同じ年代でありながら命を懸けて戦争に参加する子供たちや、食料不足に陥り、餓死してしまう人々が、世界の中にはいまだに多くいます。

みなさんは、このテレビコマーシャルを観たこと、聞いたことがありますか。

「妹の命を奪った水。生きるためには、飲むしか

なかった。」

この言葉は、私たち日本人には程遠く、かけ離れていることだと思える人が多いでしょう。私たちには関係ない、考えもしなかったと。

しかし、本当に気にかけていいのでしょうか。「こんな人生は嫌だ。」というような「何かしらの不満がある人」としての不満は、本当に深刻な不満なのでしょうか。さすがに命に関わることには不満をもっていても仕方ないと思います。しかし「テレビを観られない」「ご飯がそんなに美味しくない。」「水道の水は好きではない。」「このような不満は小さなことだと思いませんか。」

もしも、貧困の中で暮らす人たちが私たちの生活を見たら、どう思うでしょう。「きれいな水だな。」「テレビってすごいな。」「おいしそうなご飯だな。」「温かい家族だな。」「毎日、楽しそうな生活だな。」「何も不満には思わないと思います。羨ましくて、仕方がないと思います。」

今この瞬間にも、時間はどんどん過ぎていきます。たった一秒でも、歯を食いしばって、泣きたい気持ちを抑えて、苦しみなながらも生きている人たちがいます。このままでいいのでしょうか。住

んでいる環境は違っても、同じ人間同士です。やはり、支え合って生きていくべきです。

私はこの文章を書いていて、分かったことが二つあります。

一つは、自分が今まで抱えてきた不満は、全て小さなことだったということです。水はきれいですし、ご飯は美味しいです。今では、ものすごく楽しく生活を送ってきたと思えます。幸せです。

二つ目は、命の重さです。先ほど話した妹の命を奪った水。その水は細菌か、人間に害となるものがたくさん入っている水です。私たちの生活のように、蛇口をひねれば水が出るのではなく、川から直接水をくんで使っています。大変な重労働です。しかも、妹の命を奪った水です。誰も、そのような水は口に含またくもないでしょう。ですが、生きていくためには仕方のないことです。その水を飲むしかないのです。そのことを考えるだけで、ぞっとします。命を奪った水と、その水を飲まなくてはいけない現実に。

これからも、苦しい環境で生きていく人たちがいるでしょう。その人たちのためにも、自分たちができる、募金や寄付などの活動を、少しずつし

ていければと思います。そして、自分がどれだけの幸福な環境にいるのかを忘れず、自分が抱えている不満が本当に深刻なものなのかを考えて、これからの人生を歩んでいきたいです。